

政策推進部長

カヤぶき屋根の全面改修には1億円余りの改修費用が想定される。今後全面ふきかえの時期を検討しながら、寄附金を基金として積み立てることも検討したい。

問

ふるさと納税として寄附され、た方へのお礼に地元の特産品を送る自治体がふえている。特産品を通じて、足利市を全国隅々までPRできるチャンスでもあり、本市でも実施できないか。

政策推進部長

寄附をいただいた方には、お礼状と本市ゆかりの品として足利学校の無料参観券などを送っている。また、市長から直接お礼の電話を差し上げ、感謝の気持ちを伝えていく。このような形を当分の間は継続したい。

市立中学校生徒の就労に係る死亡事故について問う！



小林 貴浩 議員

問

足利市立中学校生徒の就労に係る死亡事故に関する第三者調査委員会の調査報告書の中で、生徒の就労を職場体験として黙認したことが問題であったと指摘されている。教育委員会と学校において何が問題であったのか。

教育長

教育委員会が職場体験として黙認したことについては、指摘のとおりである。報告書の提言を重

く受けとめ、学校と教育委員会が共通理解のもとで再発防止に向けた取り組みを行っていききたい。

問

調査報告書の中で提言されている再発防止策については、今後どのように進めていくのか。

教育次長

報告書の提言は、違法な就労の防止、学校の支援体制の整備、事後対応、調査活動の改善など多岐にわたっている。すぐにできるものと、中・長期的な展望の中で検討していくものを整理し、県教育委員会や関係機関と連携を図りながら、それぞれの対応策の一つ一つ着実に取り組んでいきたい。

問

ソーラーパネルの設置など山り土砂災害が起こり得る可能性のある地域を本市では把握しているのか。

総務部長

現在の法制度では、山間部のさまざまな開発行為をすべて把握することには限界がある。危険箇所をすべて把握することは困難であるが、土砂災害を防ぐために、関係機関と連携しながら進めていきたい。



▲過去足利市で発生した土砂災害の被害

中学生死亡事故の再発防止策を！



金子 裕美 議員

問

「足利市立中学校生徒の就労に係る死亡事故に関する調査報告書」にある再発防止の提言を受け、学びの指導員の増員や、市採用のスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを配置できないか。

教育次長

各小中学校のニーズが非常に多岐にわたることから、それぞれの実態とニーズを把握し、学びの指導員や心の教育（教室）相談員の配置を検討したい。また、スクールカウンセラー等については、スーパーバイザーなどの市単独事業を総合的に見直す検討を始めている。財政的な面もあることから、まずは現在のものに統合し、より良いものになるよう知恵を絞りたい。

問

不登校に悩む子供が通う学校が多い生涯学習センター

内にあるため、学校のような雰囲気がある。もっと子供が気軽に通えるような居場所を提供できないか。



▲学校教育相談室（生涯学習センター内）

小林 貴浩 議員

○足利市立中学校生徒の就労に係る死亡事故に関する調査報告書について

- ・調査報告書の内容
- ・調査報告書の今後の取り扱い
- 災害対応について
- ・豪雨対策

金子 裕美 議員

- 足利市立中学校生徒の就労に係る調査報告書について
- ・再発防止の提言に対する考え
- ・再発防止の提言に対する考え
- ・学校の支援体制の整備
- ・学校外の居場所の整備
- ・第三者的な相談・救済機関
- 屋内子ども遊び場事業について
- ・屋内子ども遊び場事業



吉田 晴信 議員

- 人事院勧告について
- ・本市の地域経済
- 市内企業の現状について
- ・企業の労働状況
- 公契約について
- ・市で発注する事業の労務単価
- 土地区画整理事業について
- ・山辺西部第一土地区画整理事業
- ・山辺西部第二土地区画整理事業

教育次長

旧月谷分校から移ってきた経緯もあることから、今まで相談室が積み上げてきたものをベースに、子供たちにより良い形となるよう工夫していきたい。

問

屋内子ども遊び場事業の内容が決定したが、90分の完全入替制で、施設内にトイレや授乳室、オムツ替えのスペースもなく、利用しにくい。改善すべきではないか。

福祉部長

けがの防止や遊具の点検など、利用者の安全性や衛生面を確保するため入替制にするものである。またトイレ等については、隣接する既存のトイレ等に近いところに出入口が位置しており、案内表示などで利用しやすいよう工夫したい。

山辺西部第一地区画整理事業の進捗状況と今後の見通しは！



吉田 晴信 議員

山辺西部第一地区の地元では、事業の早期完成への期待が高まってきているが、家屋移転が約40戸、道路整備が約3千メートル残っていると聞く。現在の進捗状況と今後の見通しについて聞きたい。

都市建設部長

現在の進捗状況については、平成25年度末事業費ベースで約78%、内訳は家屋移転約85%、道路等公共施設整備約65%である。今後の見通しについては、残

る家屋移転等をおおむね5年で完了したいと考えている。その後、土地の確定測量及び換地処分・土地登記等の法的手続きを経て、平成33年度の完了を目途に事業を進めていきたい。

問

野州山辺駅周辺にはアパートなどが多く建ち始めている。今後、駅周辺の環境整備を早期に進めべきと考えるがどうか。

都市建設部長

平成26年度は、駅前広場とこれに接続する道路を中心に整備する。平成27年度以降も、家屋移転の状況を見ながら、駅利用者への利便性を図る意味でも積極的に整備を進めていきたい。



▲野州山辺駅周辺の現在の様子

問

労働条件の悪化を未然に防ぐため、労働条件などの基本理念を明確にした公契約条例を制定する必要があると考えるがどうか。

総務部長

公契約条例の制定については、引き続き国及び県、他市町の動向を注視しながら、県南6市契約事務研究会や両毛6市入札契約事務調査研究会の中で、引き続き研究を深めていきたい。

足利市は、これまで担ってきた保育の実施責任を後退させない努力を！



尾関 栄子 議員

問

子ども・子育て支援新制度における保育従事者の基準は、一部を除いた小規模保育・家庭的保育、居宅訪問型保育などでは研修のみでよく、保育士資格を要件としていない。今までどおりの保育士基準になるような努力が必要ではないか。

福祉部長

今までも認可外保育で保育ママが預かっていた実績もあり、ノウハウのある方に預けたいというニーズがある。新制度はそれらうまく取り入れるものであり、必ずしも保育士資格を必要としないものもある。

問

足利市立中学校生徒の就労に係る死亡事故に関する第三者調査委員会からの報告は、長期欠席児童生徒の調査の継続と市教育委員会と学校が連携して「非行」傾向の不登校生徒の有効な対策を提案しているが、対応策をとっているのか。



▲第三者調査委員会の調査報告書

尾関 栄子 議員

- 子ども・子育て新制度について
- ・子供の「最善の利益」のために
- 足利市立中学校生徒の就労に係る死亡事故に関する第三者調査委員会からの報告書について
- ・二度とこうした悲しい事故を起こさないために
- 議案第47号 足利市税条例等の改正について
- 議案第49号 平成26年度足利市一般会計補正予算(第3号)について

教育次長

さまざまな状況や事情があるため、それぞれの学校で家庭訪問をしたり、子供の様子を観察したりということに対応をしているものと捉えている。

問

「非行」傾向の子供を受け入れる体制として、相談員を先生のOBや民間から招き、心の相談室を学校にもう一つふやせないか。

教育長・教育次長

さまざまな形で市単独の相談員を配置しているが、学校の需要に応じた形で再編を考えている。また、第一義にはやはり県のスクールカウンセラー等の増員を要望していくことだと考えている。学校教育相談室も第三者調査委員会の提言を受けて見直しをしているところであり、その充実に向けて努力をしていきたいと考えている。

質問、答弁とも要旨のみ掲載しました。

9月議会の会議録は、11月下旬にインターネット上の会議録検索システムに掲載を予定しております。詳細は市議会ホームページをご覧ください。